

一部屋からできる耐震化

地震が発生した際に、住宅の耐震対策として最も有効な方法は「耐震改修工事」です。しかし、費用面などの理由により改修が難しい場合には、命を守る観点からリスクを低減し、人命の安全確保につながる暫定的・緊急的な対策を講じることも有効です。こうした対策の一つに、少ない費用で身を守る方法として「耐震シェルター」があります。

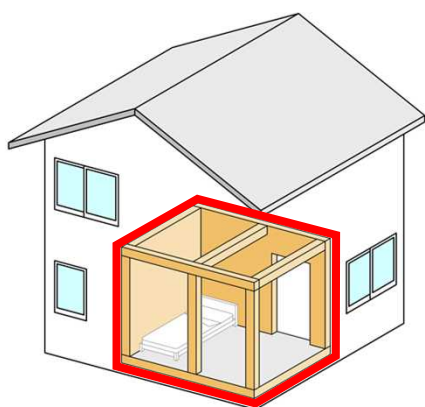
耐震シェルター

耐震シェルターとは、住宅の一角に耐震性の高い空間を作り、万が一、住宅が倒壊するほどの大地震が発生した場合に、その空間へ避難することで自分の身を守るものです。耐震シェルターは、住宅の間取り・用途・予算等に合わせて種類を選ぶことができます。

部屋型タイプ

住宅の中の一室を完全に耐震強化するもので、寝室やリビングなどの日常生活を送る部屋に適しています。

広い空間を安全に保つために、高度な技術や耐久性の高い材料で、壁・床・天井を強化する手法です。

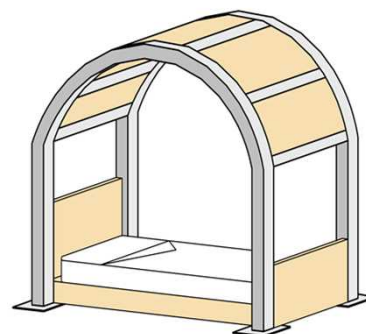


※必要に応じて、床補強が必要です。

家具型タイプ

ベッドやダイニングテーブルなど、普段使う家具に高強度な素材を取り入れて、上からの落下物や住宅の倒壊から身を守る手法です。

家具は日常的に仕様することができるため、生活空間を圧迫せず、また、インテリアに調和するような外観のものもあります。



※住宅の1階部分に設置する等条件があります。
※必要に応じて、床補強が必要です。

通常の耐震改修工事と大きく違う点

- 工期が短い・・・・・・・・・・工期が最短で1日、長くても2週間程度で終わります。
- 住みながら工事・・・・・・・・・・1部屋だけの施工なので工事中でも居住できます。
- 比較的安価・・・・・・・・・・施工費が通常の耐震改修よりも比較的安価です。

※耐震シェルターは、秋田市住宅リフォーム支援事業の対象となる場合があります。詳しくは、住宅政策課（☎888-5770）までお問合せください。